システムパッケージリリース情報 【機能操作説明】Version 5.0.0

2017年1月31日

日本医師会ORCA管理機構

改訂内容

2017 年 1 月 31 日 初版 2020 年 2 月 28 日 1-1 (2)アクセスキーの再取得の方法を全て変更

≡ 目 次 ≡

1 機能操作説明 (バージョン 4.8.0 からの変更内容)

1-1 マスタ更新	
(1) アクセスキーの取得	
(2) アクセスキーの再取得の方法	
1-2 システムとデータベースの起動時整合チェック	
(1) 機能概要	
(2) 不整合の表示	
0-10-1	_
1-3 プラグイン設定チェック	
(1) 機能概要	
(2) 不整合の表示	
(3) エラープラグインパッケージの確認	
(4) エラープラグインパッケージの削除	
(5) エラープラグインパッケージの組み込み	
1-4 処方せんの一般名画面表示対応	
(1) 機能概要	
(2) 薬剤名称の画面表示と表示切り替え方法	
	1.4
1-5 バッチ処理実行履歴とログの確認	
(1) 機能概要	
(2) 確認方法	
1 - 6 その他の変更点	18
(1) 印字テスト	
(リ) 中ナノヘト	

1-1 マスタ更新

(1) アクセスキーの取得

ライセンスマスタ更新データを取得する際のユーザ認証方式を変更しました。

医療機関IDシステムの医療機関専用サイトにてユーザ情報の登録が完了していることが 前提となります。

また、ユーザ情報の医療機関 I Dがシステム管理「1001 医療機関情報 - 基本」の医療機関 I Dに正しく登録されている必要があります。

ここまでを確認した後にアクセスキーの取得を行います。

「業務メニュー」→「92 マスタ更新」と進みます。

〔(M96)マスタ更新管理一覧〕画面を表示します。



「キー取得」ボタンが表示されている場合はアクセスキーが未取得ですのでクリックします。 「キー取得」ボタンが表示されていない場合は既に取得済みですのでこの処理は不要です。



「OK」ボタンをクリックします。



医療機関IDシステムに問い合わせをしますので2~3秒くらい待ってから「OK」ボタンをクリックします。



メッセージを確認後「OK」ボタンをクリックします。



「キー取得」という表示が消えていることを確認します。 これでライセンスマスタの更新が可能となります。

アクセスキーが取得できなかった場合、次のようなメッセージが表示されます。

(ア) キー取得処理により発行済みの場合

「アクセスキーは発行済みです(401)」

この状態になるケースとして、キー取得処理をした後にキー取得前のダンプから復元した 場合などが考えられます。

(イ) 正しい医療機関 I Dが登録されていない場合

「アクセスキーを発行できません(402)」

この状態になるケースとして、システム管理「1001 医療機関情報-基本」の「医療機関 ID」項目に誤りがあるかもしれません。

(2) アクセスキーの再取得の方法

キー取得処理をするとアクセスキーは発行済みとなる場合は、下記の窓口まで、必要事項を 記載の上、お問い合わせをお願いします。

医療機関 ID お問い合わせ窓口: id-application@orca.med.or.jp

記載内容:

- · 医療機関 ID
- 医療機関名

- 医療機関住所
- ・医療機関電話番号 (お問い合わせがベンダーの場合は上記に加え)
- ・会社名
- ・担当者名
- ・電話番号

1-2 システムとデータベースの起動時整合チェック

(1) 機能概要

クライアントから日レセへ接続時にパッチ適用状態とデータベース構造バージョンのチェックを行うようにしました。

不整合の場合は業務続行は不可となり、マスターメニューにメッセージを表示します。 この場合は戻る及びプログラム更新ボタンのみ選択可能となります。(ログインユーザーが 管理者でない場合は戻るボタンのみとなります。)

マスターメニューのメッセージにはプログラム更新又はセットアップの実施を行う必要があるなどお知らせします。

(2) 不整合の表示

不整合の場合は状態により2種類の対応となります。

(ア) パッケージリリース時の構造バージョンよりデータベース内の構造バージョンが小さい場合は、

"プログラムのDB構造バージョンとDB管理テーブルの構造バージョンが不整合です!!"

"jma-setup 処理を実施してください。"

と表示します。

セットアップから実施する必要があるため、メニューからはプログラム更新も実施不可となります。



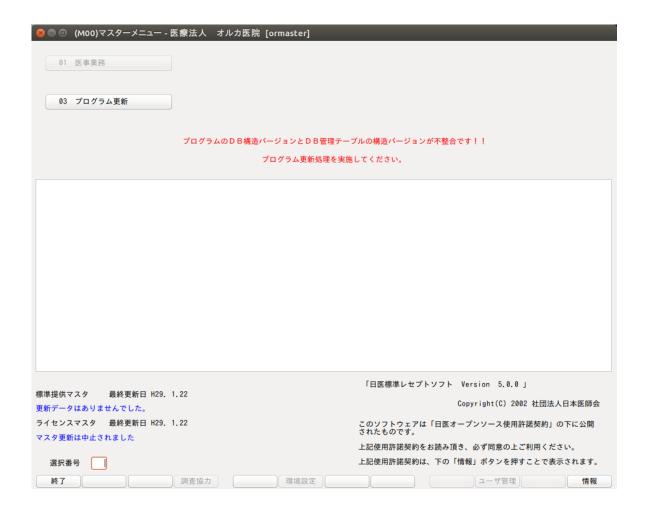
(イ) パッケージリリース時の構造バージョンより大きく、パッチリリース時の構造バージョンよりデータベース内の構造バージョンが小さい場合は、

"プログラムのDB構造バージョンとDB管理テーブルの構造バージョンが不整合です!!"

"プログラム更新処理を実施してください。"

と表示します。

プログラム更新を実施する必要があるため、メニューからはプログラム更新のみ実施可能 となります。



プログラム更新を実施し改めてマスターメニュー画面を表示した時には、不整合のメッセージは表示されなくなります。

1-3 プラグイン設定チェック

(1) 機能概要

システム起動時にプラグイン組み込み状態と処理プログラムの状態のチェックを行うようにしました。

不整合の場合はマスターメニューにメッセージを表示しますが、業務は継続可能となります。

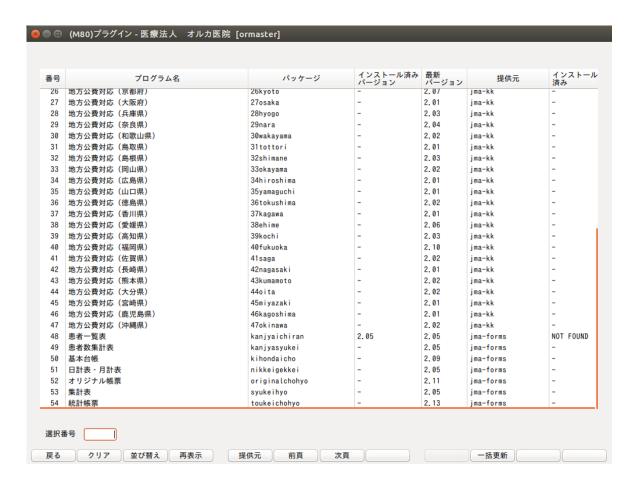
(2) 不整合の表示

不整合の場合はマスターメニューに "プラグイン設定に矛盾があります。管理者まで連絡してください。" とメッセージを表示します。



(3) エラープラグインパッケージの確認

不整合の場合はプラグイン画面でどのプラグインパッケージがエラーであるか確認します。 インストール済み欄に"NOT FOUND"と表示します。



(4) エラープラグインパッケージの削除

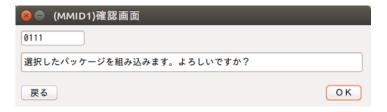
エラーとなったプラグインパッケージを選択して削除ボタンをクリックします。



OKボタンで処理を行うと未インストールの状態にできます。

(5) エラープラグインパッケージの組み込み

エラーとなったプラグインパッケージを選択して個別更新ボタンをクリックします。



OKボタンで処理を行うとインストール済みの状態にできます。

1-4 処方せんの一般名画面表示対応

(1) 機能概要

診療行為・会計照会画面で処方せんに一般名記載する薬剤の名称を一般名で表示可能としました。

システム管理の設定で一般名表示を初期表示することを可能としました。

(2) 薬剤名称の画面表示と表示切り替え方法

診療行為・会計照会画面で処方せんに一般名記載する薬剤の名称を一般名で表示可能としま した。



処方せんに一般名記載する薬剤について一般名で表示する場合、「≪般≫+一般的名称」で表示します。ただし、診療確認画面は従前通り【般】で表示します。



システム管理の「1038 診療行為機能情報」の確認画面処方名称表示を「2 一般名表示(全画面)」と設定すると初期表示を一般名で行います。設定のない時は銘柄名表示となります。

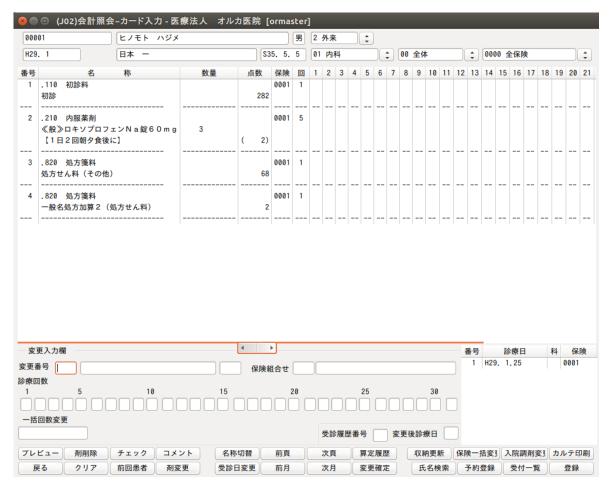


診療行為画面 (K02, K02N) で入力コード欄の最終行に /G または、/g を入力することで一般名表示と銘柄名表示の切り替えができます。

また、外来分の診療行為画面のみ上部に"(一般名)"又は"(銘柄名)"を表示します。



DO画面(KO9)では「F4 名称切替」ボタンをクリックして表示切り替えができます。



会計照会画面(J02)では「名称切替」ボタンをクリックして表示切り替えができます。 なお、同一剤で「後発品変更不可(処方単位)」の指定がある日とない日が混在した場合は 一般名により表示します(1日でも一般名記載が存在する為)。

剤内容変更画面(J04)は会計照会画面での表示方法を引き継ぎます。画面での表示切替えはできません。

外来まとめ入力画面については外来診療行為画面と同様となります。

1-5 バッチ処理実行履歴とログの確認

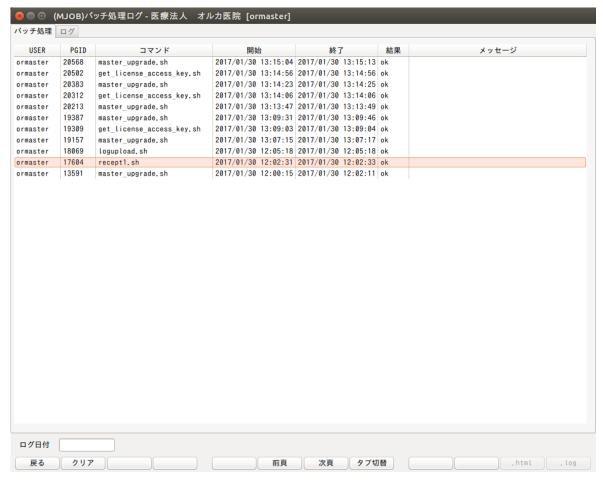
(1) 機能概要

管理者権限を持つユーザーは、バッチ処理として起動されたレセプト処理、マスタ更新処理、 プログラム更新処理等の実行履歴を画面で確認できるようにしました。また、出力されたロ グの内容についても画面で確認できるようにしました。

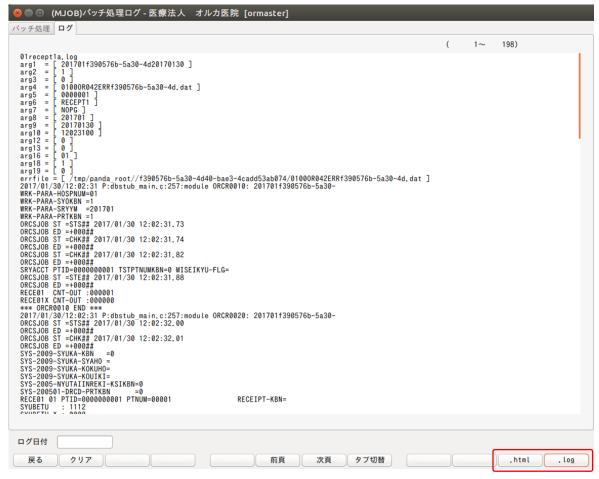
(2) 確認方法



マスターメニュー画面の「バッチログ」ボタンをクリックします。



初期表示はシステム日付に実行されたバッチ処理の一覧を表示します。 処理ログを確認する場合は一覧から行を選択します。



プログラムが出力したログを画面内に表示します。

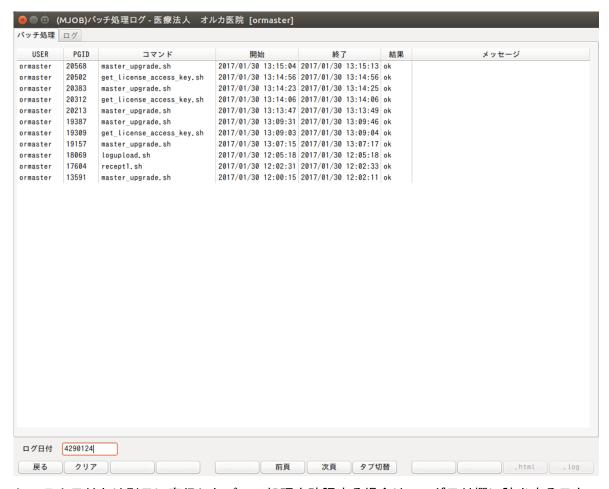
ログをファイルへ出力することが可能です。

データ形式はテキスト形式とHTML形式が選択できます。

データ形式に該当するボタンをクリックするとしばらくして確認ダイアログが表示されますので応答します。



日医標準レセプトソフト



システム日付とは別日に実行したバッチ処理を確認する場合は、ログ日付欄に該当する日を入力します。指定した日の一覧を表示します。

1-6 その他の変更点

(1) 印字テスト

システム管理「1031 出力先プリンタ割り当て情報」の印字テストのサンプルイメージを変更しました。

